

1. プロテスタンティズム...

プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神については、キリスト教入門や社会学概論でも紹介されたので、内容がすこし繋がっているように感じて面白かった。 **あーっ！読んでりやあ？！**

私はプロテスタントは聖書の教えることを守るのでプロテスタントと覚えていたが、プロテスタントは抗議するからプロテスタントだかうけ Good!

一つの古典的名著だと思いますので、手にとってみることをおすすめします。一方で、私のような素人が宗教を語って失礼があったとしたら申し訳ないです。

2. プロテスタントとカトリック

桜美林がプロテスタントであることを初めて知った。 **でしては！.....**

離婚かてまふいのはびっくりした。 **時々、シスター小説に**

3. 反証可能性

科学の定義とは一体なんなのか。なんだかわからなくなってきました。

今回、授業の後半の方でできた「個別」の事象や反証が難しい学問についての話の印象に残った。なぜなら、大学でメインで学んでいる言語学、特に認知言語学や対照言語学はこの分野に当てはまると思うからだ。これらの学問では反証できない事例で、センシバライズへの暴行のすつに、現代という知識の場を応用したと思うものの、反証できないものだと感じた。

いろいろ事例が！ありまね！

大学入試の小論文を書く練習の時に、先生から教わったことに、あえて反論を書くと言われたことがある。自分の意見に対して、あえて反論を予想し、自分の意見の強張をする方法である。これが科学の、あえて違う仮説を検証するといったことに似ているような気がした。

色んな学問から仮説と検証と考えると、思、これ以上に理論が広がるような気がした。最初は、ABCを理解してそれで終わりの理論だと思っていたが、今回のように社会学から観察すると目的と手段という決定的でない方法を取る必要があること、それに伴う反証可能かという点も面白かった。 Good!

私たちは科学のABCについて身につけてきました。それはガリレオからの人類への贈り物です。

しかし、その方法がいつでも使えるのか、他の分野についても使えるのか、ということと必ずしも万能ではない、ということがわかります。特に反証可能ではない事例に対して、法則性を導くことは困難です。

だからといって「第三種の疑似科学」がすべて学問じゃないか、ということ、そうではなく、それぞれの学問の方法があるはずです。社会学の目的と手段という観点での研究はその一例と言えるかもしれません。

4. 歴史は繰り返す

「歴史は繰り返す、一度目は悲劇として、二度目は喜劇として」という台詞が私一度失敗したことは次は成功できるというポジティブな考え方だと思っていたので、皮肉な言葉だと聞いてゾッとした。 **仮説は一度**

同じ悲劇を繰り返す人間は笑うしかないということによく共感した。私はそういう人間になりたくない。そのため勉強だと思っているのが、過去・経験から学べる人間になりたいと思う。 **ゼミ 学んでいきましょ**

授業中には学生の皆さんの意見にとっさに反応できませんでしたが、1回目の失敗で2回目は成功するのなら繰り返さない、ということになりますね。。

マルクスが言っていた「歴史は繰り返す、一度目は悲劇として、二度目は喜劇として」という言葉には先生もおっしゃっていたように学べという思いが込められていて感動しました。私たちは日本人は原爆を落とされ戦争の怖さを知っているから平和主義の国として知られているが、現代では戦争が真・最中な地域もたくさんあり、その人たちにこそ、マルクスが言っていた言葉が当てはまっているんじゃないかと思う。 **私も同じ思いです！** また、行動経済学の話で人の感情は

日本に住む私たちは、原爆を落とされて、原爆や戦争の怖さを知っている、はずですが。本当に知っているのか。心配しています。

暗くて悲惨な歴史でつまらなくても、知っておかなければならないことがあるのではないか。

5. その他

「バタフライエフェクト」を知っている人か、初めて身近にいて驚きました。私は歴史が好きで、勉強することも苦ではないですが、映像だとより頭に入ってきて忘れられ

「バタフライエフェクト」とその前に放送されていたNHKの「映像の世紀」はこの授業でも後で見ていただくことになると思います。

他大学の4年生は目が死んでいる人が多いけれど、科学科生は4年生になっても目を輝かせて喋っている人が多いいという話を聞いて、これからの学校生活がより楽しくなりました。 **そういふ人を見つけて下さい** また、映像を観て

期待して下さい！そして、皆さん自身もそうなってほしいです。